

無線連動式住宅用火災警報器 SS-2LRシリーズ(煙式) SS-FKシリーズ(熱式)

かんたん取り扱いガイド

■ご使用にあたっては取扱説明書を必ずご覧ください。

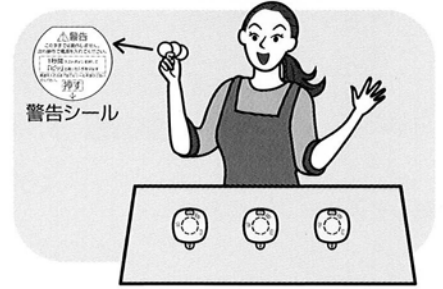
1 電源を入れる



① 取り付けるすべての警報器を個装箱から取り出します。



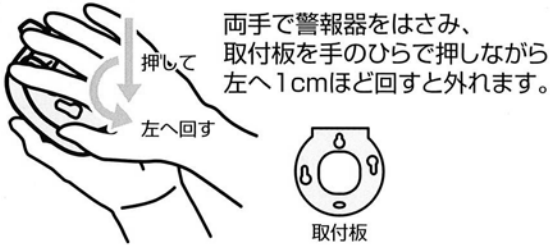
② テストボタンを1秒ほど押して「ピッ」と鳴ったら指を離します。警報器が「未登録です」と言い、電源が入ります。



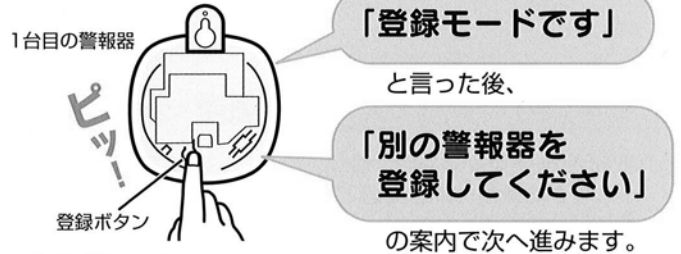
③ ②の作業をすべての警報器で行い、表に貼ってある警告シールをはがしてください。

2 登録(増設)方法

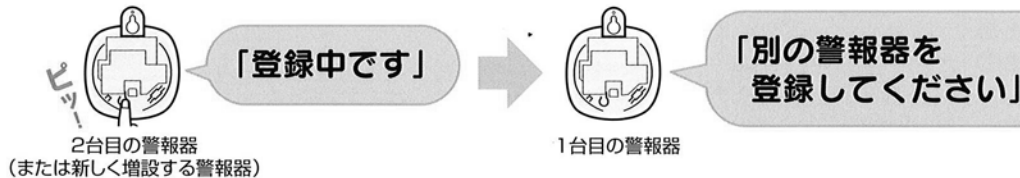
① 取り付けるすべての警報器の取付板を外します。(増設時の場合は増設する警報器)



② 警報器をどれか1台選び、背面にある登録ボタンを押して「ピッ」と鳴ったら指を離します。(増設時の場合は、すでに取り付けてある警報器のどれか1台を外して行います)

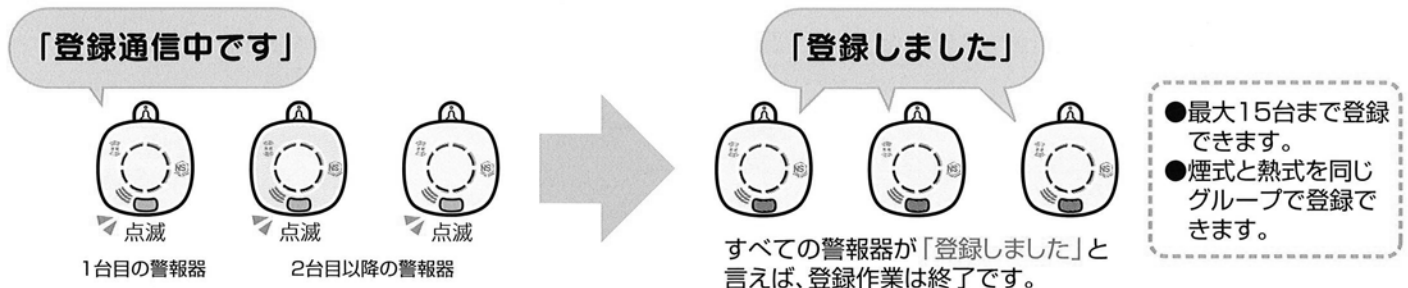


③ 60秒以内に2台目の警報器の登録ボタンを押して「ピッ」と鳴ったら指を離します。(増設時の場合は新しく増設する警報器で行います)



以下、同様の作業をすべての警報器(増設時の場合は新しく増設するすべての警報器)で1台ずつ行ってください。

④ すべての警報器の登録ボタンを押し終わった後、60秒ほどすると1台目の警報器が「登録通信中です」と案内を始め、グループ設定を開始します。



- 最大15台まで登録できます。
- 煙式と熱式を同じグループで登録できます。

3 取付場所・位置の確認

取付場所

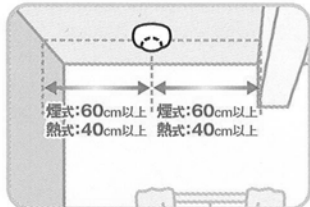
次のような場所に取り付けます。

煙式…寝室・階段・廊下・リビング・台所など。

熱式…お住まいの地域の条例により、煙式に代わって設置が認められている部屋（主に台所）。

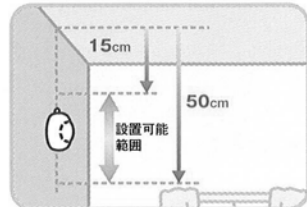
取付位置

■天井に取り付ける場合



警報器の中心を壁や梁から、煙式の場合は60cm以上、熱式の場合は40cm以上離して取り付けてください。

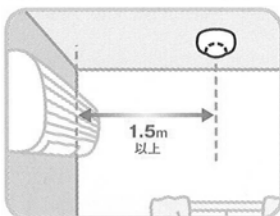
■壁に取り付ける場合



警報器の中心が天井から15cm～50cm以内に入るように取り付けてください。

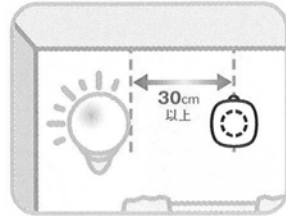
次のような場所には取り付けないでください。火災による煙を正常に感知できない場合や、誤動作の原因になります。

■エアコンなどの近く



空気の吹出口からは1.5m以上離してください。

■照明器具の近く



照明器具からは30cm以上離してください。

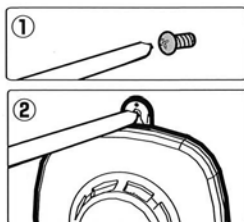
4 取付方法

引掛フックを使用した取り付け（壁面）

引掛フックを使用して取り付ける場合、取付板は必要ありませんので、本書「2. 登録（増設）方法」の①をご参照の上、外してください。

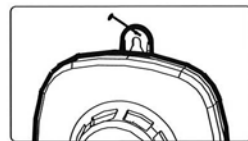
取付ネジを使用する場合

- ① 付属の取付ネジを途中までねじ込み、引掛フックを引っ掛けます。
- ② 途中までねじ込んだネジを締め込めば取り付け完了です。



石こうぎを使用する場合

警報器の上部にある石こうぎ用取付孔部分に付属の石こうぎでしっかりと固定してください。石こうぎは上方から斜めに打ち込みます。

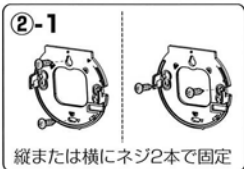


取付板を使用した取り付け（壁面・天井面）

- ① 取付板を使用する場合、警報器上部のフックは使用しませんので、必要に応じて折り取ってください。

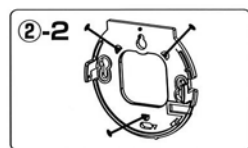


- ②-1 取付ネジを使用する場合
取付板を警報器から外し、付属の取付ネジ2本で取付板をしっかりと固定してください。

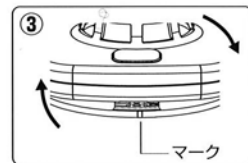


- ②-2 石こうぎを使用する場合（壁面のみ）

取付板を警報器から外し、付属の石こうぎ3本で取付板をしっかりと固定してください。打ち込む際は、図のように斜めに打ち込むとしっかりと固定できます。

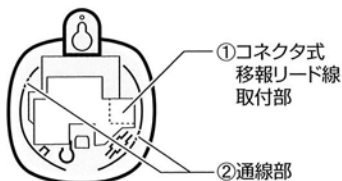


- ③ 取付板のマークと警報器下部の切り欠きを図のように重ね、警報器が止まるまで右へ回します。



5 外部装置を接続する場合 移報出力付きのみ

移報出力（火災時信号出力）端子付きの警報器（煙式/SS-2LRH、熱式/SS-FKH）^{*1}は、取付部がコネクタ式なので、増設ブザーなどの外部装置と簡単に接続できます。接続された外部装置は、同一グループ内の警報器と連動して動作します。^{*2}



- ① シールを切り取り、同梱のコネクタ式移報リード線を取り付け、外部装置と接続します。
- ② 移報リード線を露出配線する場合は、ニッパーなどで通線部を切り欠いて線を通してください。

■移報出力の仕様

出力：無電圧a接点
最大定格：DC30V、500mA

^{*1} SS-2LRH、SS-FKHは受注生産品となります。
^{*2} 火災警報音の一時停止中は動作しません。

●詳細は取扱説明書をご覧ください。

●ご不明な点は、住宅用火災警報器ご相談センター（ナビダイヤル:0570-077-155）までお問い合わせください。

⑥ テスト(点検)のしかた

外観を確認する 1年に1回以上

煙感知部にホコリなど異物が付着していないか確認してください。
感知部にホコリやクモの巣などが付着していたら取り除いてください。
本体の汚れは布にせっけん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。



煙感知部：
煙が流入し、煙を感知します。

単独テスト 警報器の機能を確認する：月に1回以上



警報器のテストボタンを
1秒ほど押して「ピッ」と
鳴ったら指を離します。

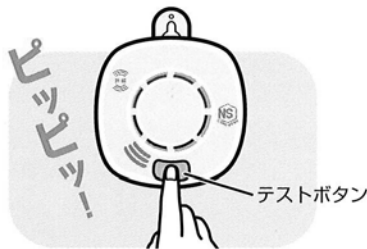
テストボタン

状態	音声案内
正常の場合	ピー ピー ピー、火事です 火事です 正常です。
故障の場合	ピッ、故障です。
電池切れの場合	ピッ、電池切れです。

異常があった場合は、本書「8. 登録削除方法」の手順に従って
登録削除をしてください。

通信テスト 登録しているすべての警報器の通信状態を確認する

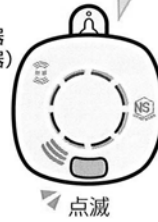
取り付けした警報器をどれか1つ選び、テストボタンを約3秒
長押し、「ピッピッ」と鳴ったら指を離します。
「通信テストを始めます」と言い、通信テストが始まります。
取付場所、個数によっては少し時間がかかる場合もあります。
(最大約10分)



テストボタン

「通信テストを始めます」

選んだ警報器
(連動元警報器)



点滅



点滅

連動先警報器



点滅



点滅

「通信テスト正常です」



点滅



点滅



点滅



点滅

すべての警報器が「通信テスト正常です」と言い、テストボタンが
約3分間点滅しつづけます。

◆テストボタンを1回押すと「通信テスト正常です」と言い、点滅は
消えます。

状態	連動元警報器	連動先警報器
正常の場合	通信テスト正常です。	通信テスト正常です。
連動先に通信できない 警報器がある場合	通信テスト異常です。 他の警報器を確認してください。	正常：通信テスト異常です。 他の警報器を確認してください。 異常：無音
連動元が通信できない 場所にある場合	通信テスト異常です。 通信できません。	無音

移報出力の確認も通信
テストと同時に行えます
(移報出力付きのみ)。
詳細は商品に同梱の
「移報出力説明書」を
ご覧ください。

通信テスト異常の場合には

電波が届かなかった警報器は、
●その部屋の中で取付位置を変える
●警報器周囲の電波を遮断する障害物を取り除く
●警報器周囲の電気機器を遠ざける
などの対応をして、再度通信テストを行ってください。



電気機器からは遠ざけて
取り付けてください。



●詳細は取扱説明書をご覧ください。
●ご不明な点は、住宅用火災警報器ご相談センター(ナビダイヤル:0570-077-155)までお問い合わせください。

7 警報器が作動したときは

火災を感知した場合の動作

連動元(感知元)の警報器の場合

「ピーピーピー
火事です 火事です」

と言い、テストボタンが点滅して他の警報器に通信します。



連動先の警報器の場合

「ピーピーピー
別の警報器が
作動しました」

と言い、テストボタンが点滅します。



感知元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
火災以外で動作した場合は、異常のないことを確認し、室内の換気をするか警報音を止めてください。

警報音を止めるとき

連動元の警報器のテストボタンを押すと、すべての警報器の警報音が止まります。
連動先のどれか1台の警報器のテストボタンを押すと、連動元以外のすべての警報器の警報音が止まります。
連動元の警報器の感知部に煙が残っている場合はテストボタンが点滅し続け、14分後に再び警報音が鳴ります。
警報音を止めた後に感知部の煙が無くなると、自動的に監視状態に戻ります。

異常警報が発生したときは

状態	連動元警報器(異常警報器)	連動先警報器(正常警報器)
故障の場合	ビップ 故障です。(1時間に3回) ビップビップ(50秒に1回)	ビップ 別の警報器が故障です。(1時間に3回) ビップビップ(50秒に1回)
電池切れの場合	ビップ 電池切れです。(1時間に3回) ビップ(50秒に1回)	ビップ 別の警報器が電池切れです。(1時間に3回) ビップ(50秒に1回)

異常警報器は、本書「8. 登録削除方法」の手順に従って登録削除をしてください。

8 登録削除方法

故障メッセージ、または電池切れメッセージが出た警報器はグループ登録から削除操作をし、新しい警報器と交換する必要があります。
登録削除をしないまま処分すると、他の警報器から「通信テスト異常です」のメッセージが出ます。



① 削除したい警報器(故障、または電池切れした警報器)を取り外します。



② 警報器背面の登録ボタンを約3秒間長押し、「ビップビップ」と鳴ったら指を離します。

「削除しました」



③ 音声案内で「削除モードです」と言い、しばらくして削除処理が終了すると「削除しました」と言います。これで登録削除が終了です。

正常に削除できなかった場合

削除したい警報器が何らかの理由で通信できず、「削除できません」と言った場合は、別の警報器で上の①②の作業を行ってください。
同一グループ内に登録された故障または電池切れの警報器の削除処理を開始します。「別の警報器を削除しました」と言えば終了です。

■ご使用にあたっては取扱説明書を必ずご覧ください。